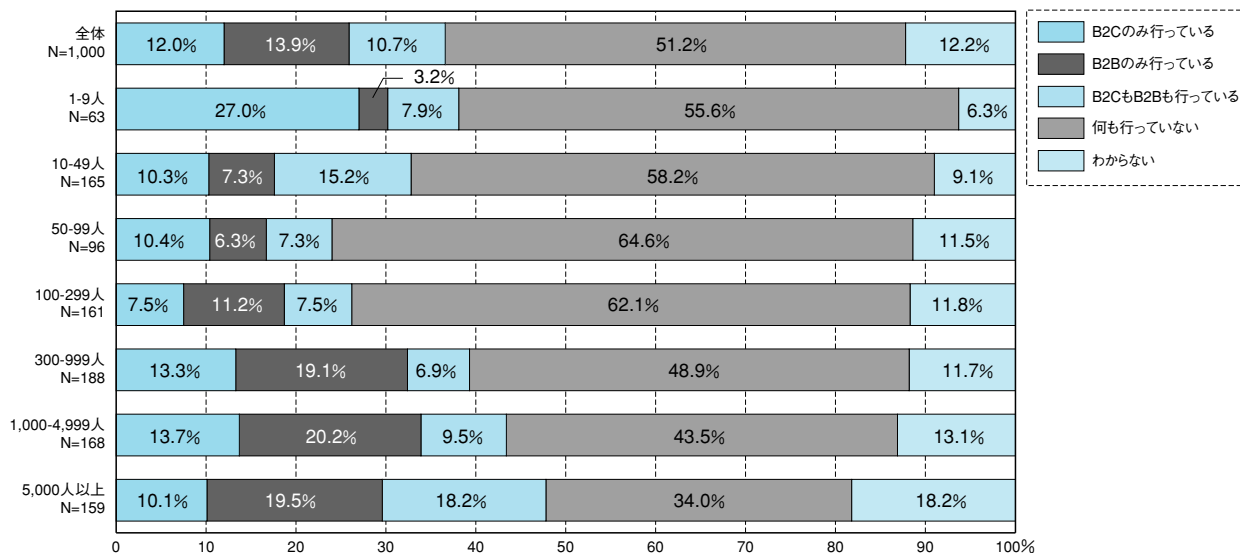


# EC

## ECへ取り組んでいるのは36.6%

資料3-1-25 ECへの取り組み状況 [従業員規模別]

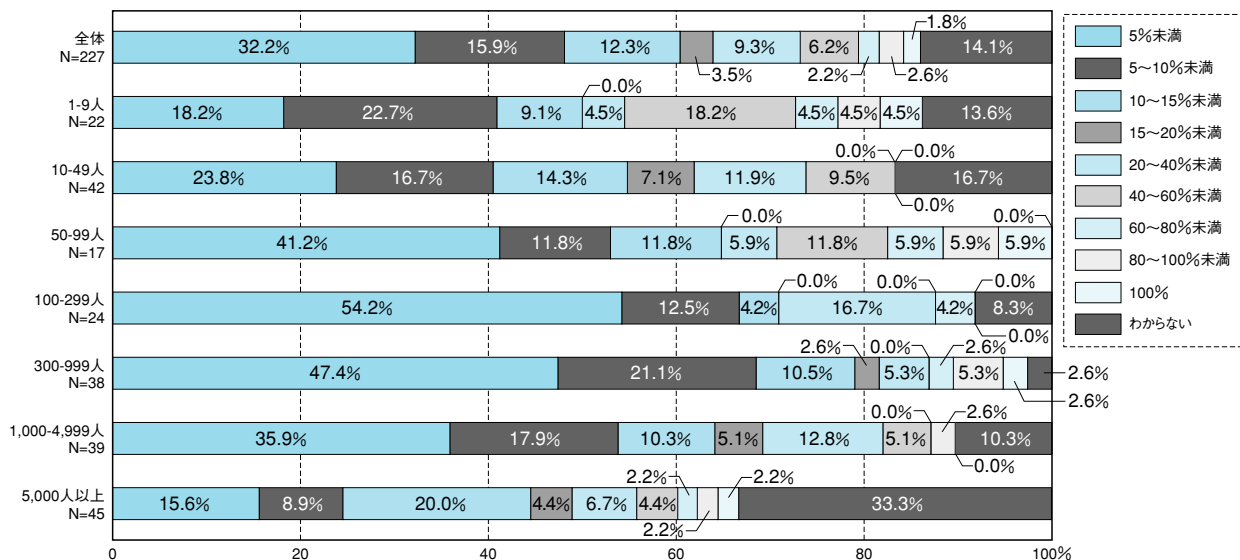


ECへの取り組み状況を見ると、36.6%が何らかのECに取り組んでいる。比較的規模の小さい企業と従業員が300人以上の大企業での取り組み率が高い。9人以下の企業では、「B2Cのみ行っている」が27.0%と高く、300人以上の企業では「B2Bのみ行っている」が20%前後と高い比率である。

©impress R&D,2007

## 半数近くがECによる売上は10%未満

資料3-1-26 全体の売上に占める一般消費者向け商取引（B2C）の比率 [従業員規模別]

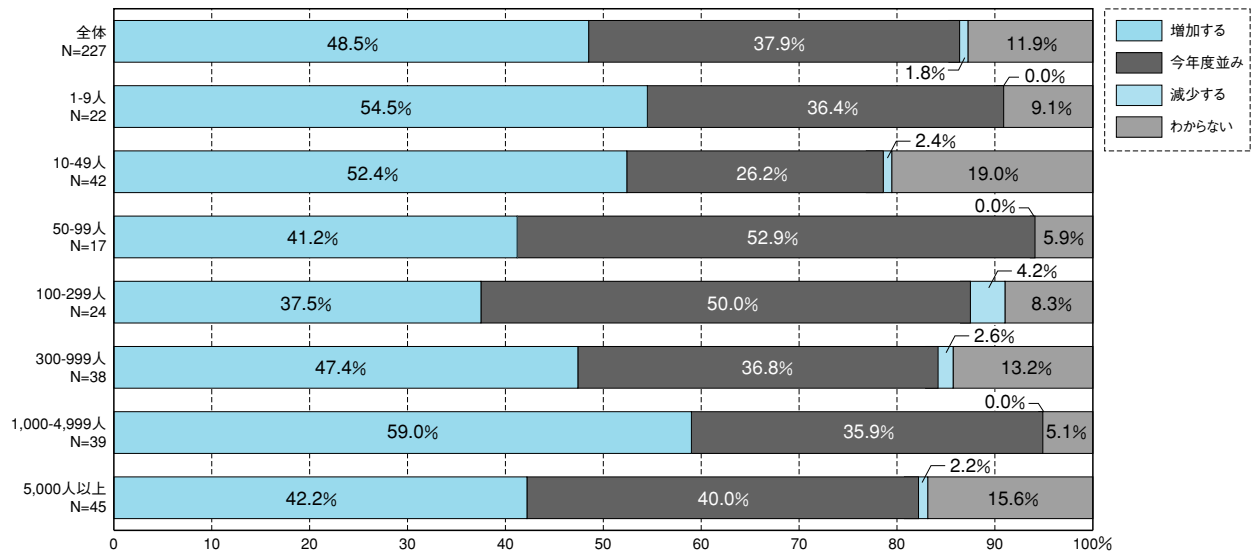


B2CのECに取り組んでいる企業に対し、全売上に占めるECの比率を聞いたものであるが、「5%未満」が最も高く32.2%、次いで「5~10%未満」が15.9%と、10%未満が半数近くを占める。従業員規模別にみると、従業員規模が小さい企業ほどECによる売上の占める比率が高い傾向にある。

©impress R&D,2007

## ECによるB2Cの売上見込みは「増加する」が48.5%

資料3-1-27 次年度のB2C売上増減見込み【従業員規模別】

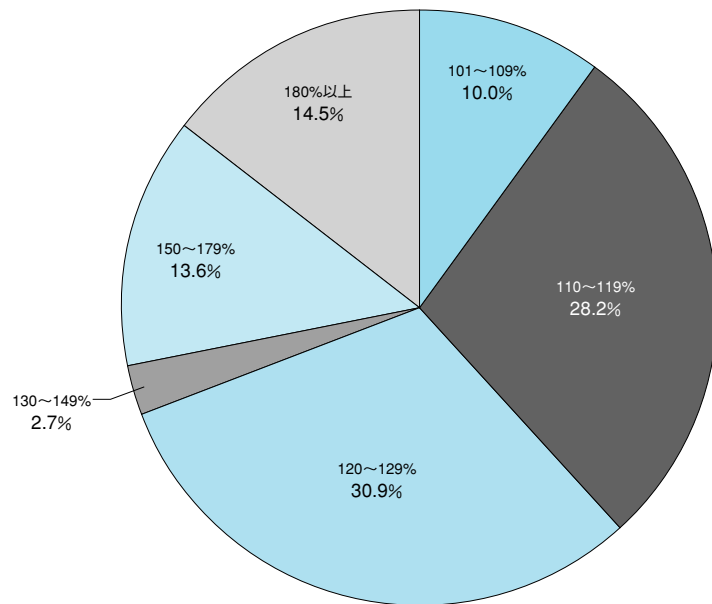


次年度のECによるB2Cの売上見込みは、48.5%が増加すると見込んでおり、「減少する」と回答したのは1.8%にすぎず、全体的に上昇志向と言える。従業員規模別にみると、50人未満の比較的規模の小さい企業と、1,000-4,999人の企業で「増加する」を見込む比率が高い。

©impress R&D,2007

## 6割が10%から30%未満の増加を見込む

資料3-1-28 次年度のB2C売上増加比率見込み N=110



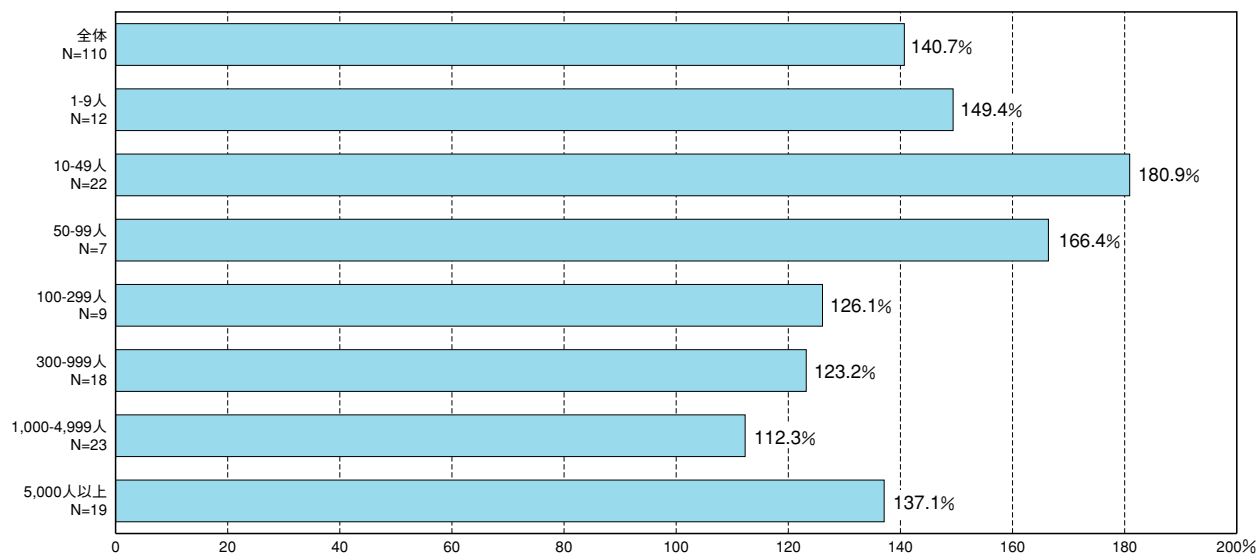
次年度のECによるB2Cの売上が増加すると回答した企業に、増加比率を聞いたものであるが、「120～129%」が30.9%と最も高く、次いで「110～119%」が28.2%と、6割が10%から30%未満の増加を見込んでいる。

©impress R&D,2007

## EC

## ECによるB2Cの売上平均増加比率は140.7%

資料3-1-29 次年度のB2C売上増加比率見込み（平均値）【従業員規模別】

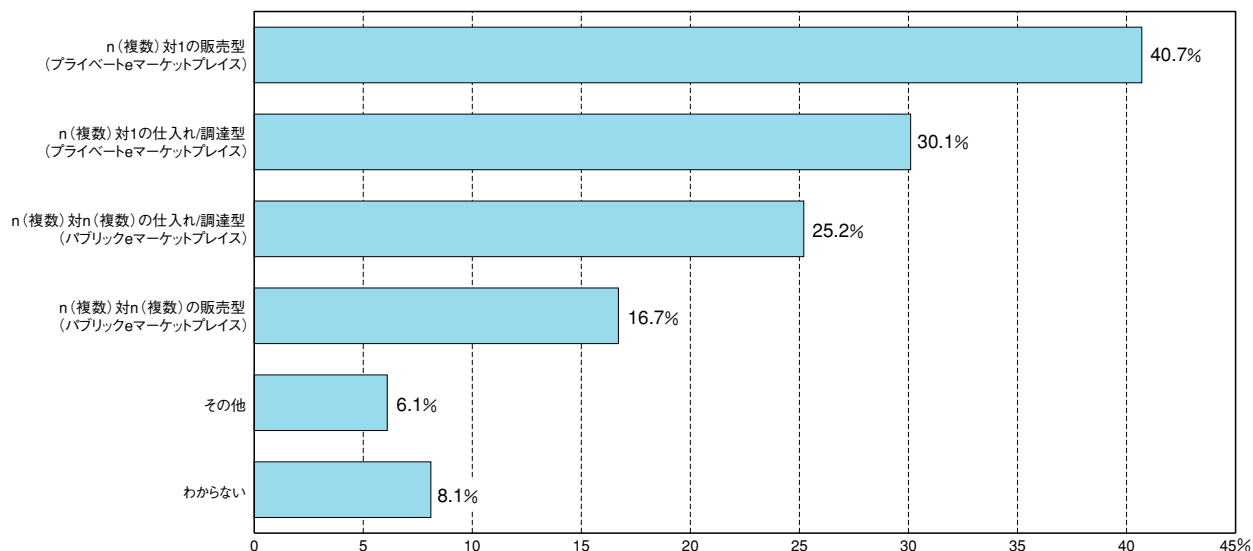


次年度のECによるB2Cの売上増加比率の平均値をみたものであるが、全体では140.7%となっている。従業員規模別はサンプル数が少ないため参考程度にとどめたいが、従業員が100人未満の比較的規模の小さい企業が高い数値で増加を見込んでいる。

©impress R&amp;D,2007

## ECによるB2Bはプライベートeマーケットプレイスが主流

資料3-1-30 取り組んでいる企業間商取引（B2B）の種類（複数回答） N=246



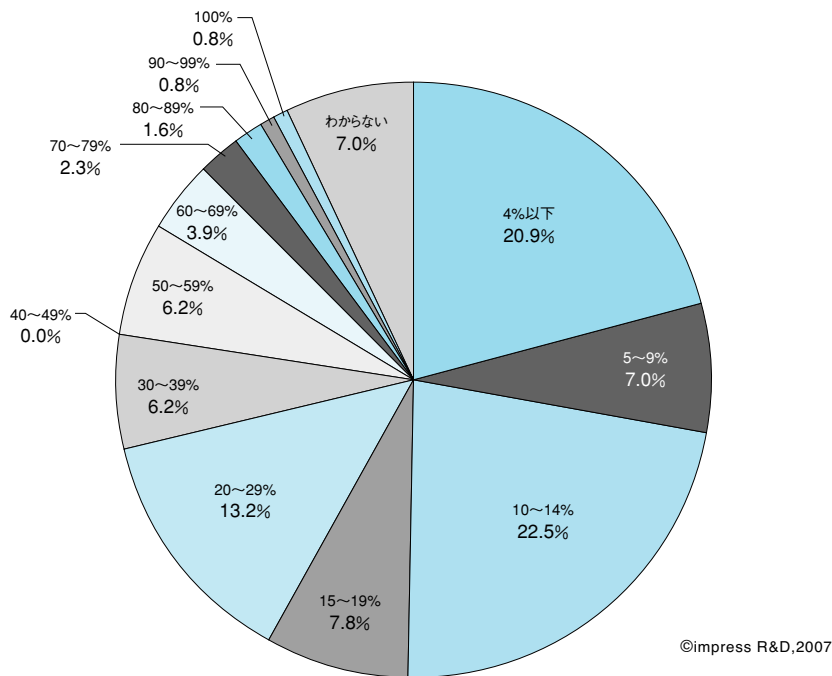
ECによるB2Bに取り組んでいる企業にその取引の種類を聞いたものであるが、「n(複数)対1の販売型（プライベートeマーケットプレイス）」が40.7%と最も高く、「n(複数)対1の仕入れ/調達型（プライベートeマーケットプレイス）」が30.1%と続く。

©impress R&amp;D,2007

EC

### ECによるB2Bの売上は15%未満が半数

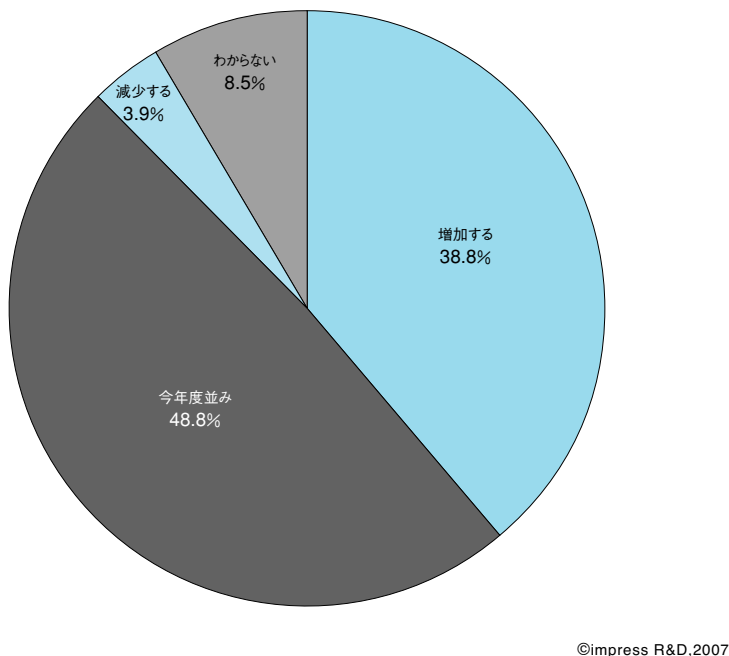
資料3-1-31 全体の売上に占めるB2Bの比率 N=129



ECによるB2Bによる売上が全体に占める割合をみると、「10~14%」が22.5%と最も高く、次いで「4%以下」の20.9%となっている。15%未満が全体の約半数を占めるが、B2Cと比較すると、その売上比率は高い。

### ECによるB2B売上見込みは「増加する」が38.8%

資料3-1-32 次年度のB2B売上増減見込み N=129

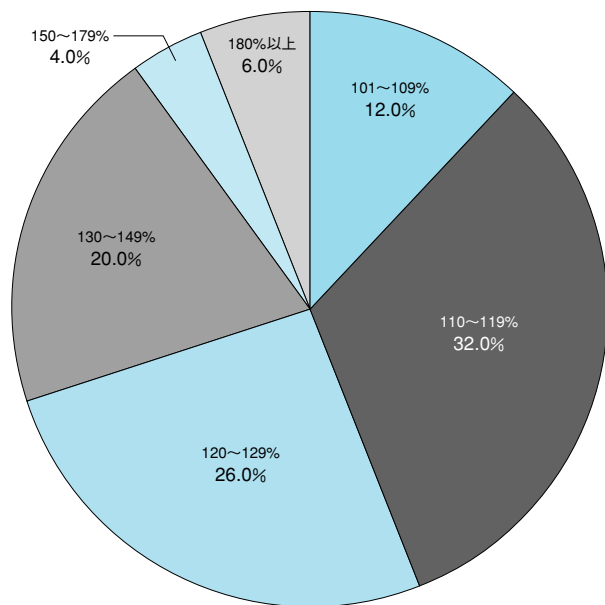


次年度におけるECによるB2Bの売上増減見込みをみると、「今年度並み」が48.8%と最も高いが、「増加する」も38.8%と高い比率であり、「減少する」は3.9%にすぎない。B2B取引においても、B2Cと同様に、ECによる売上見込みは上昇志向である。

# EC

## ECによるB2Bの売上の増加比率は130%未満の見込みが7割

資料3-1-33 次年度のB2B売上増加比率見込み N=50

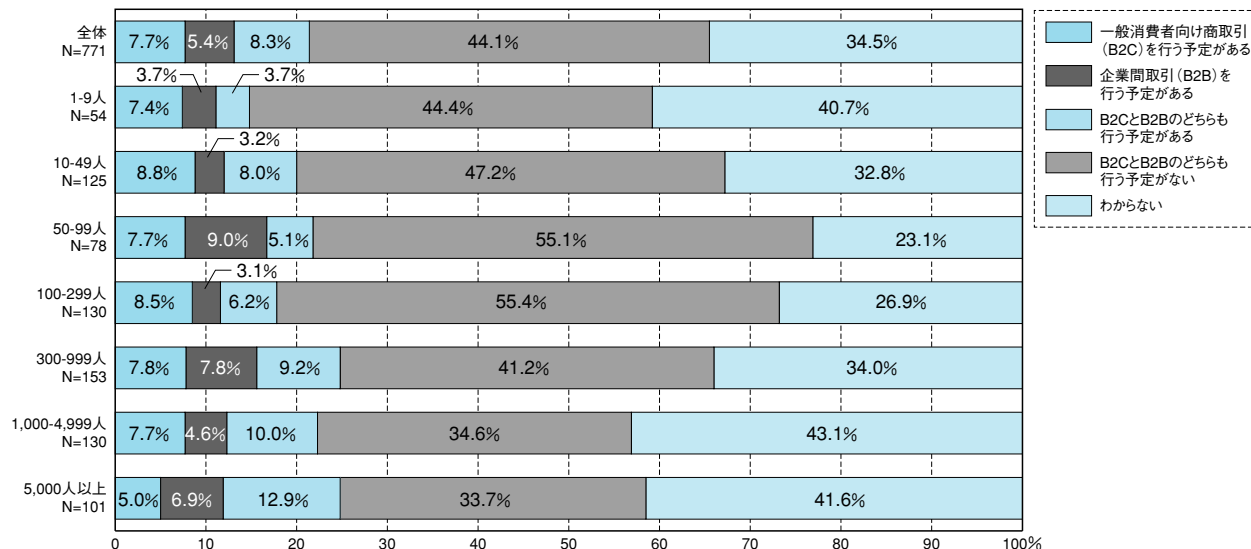


サンプル数が少ないため参考程度にとどめたいが、次年度のECによるB2Bの売上が増加すると回答した企業に、売上増加比率を聞いたものである。「110~119%」が32.0%で最も高く、次いで「120~129%」が26.0%となっており、130%未満の見込みが7割を占めている。

©impress R&D,2007

## 44.1%がECを行う予定がない

資料3-1-34 ECに関する今後の取り組み予定 [従業員規模別]



ECに対する今後の取り組み予定をB2BとB2Cの両方に取り組む企業以外に聞いたものである。今後ECに取り組む予定（取引相手を追加する予定を含む）があるのは、21.4%であり、利用意向はあまり高くない。取引形態や商習慣によってはECが適さない企業も多いことがうかがえる。

©impress R&D,2007



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)